

経営比較分析表（令和5年度決算）

高知県 仁淀川町

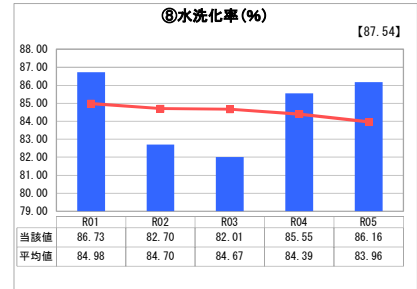
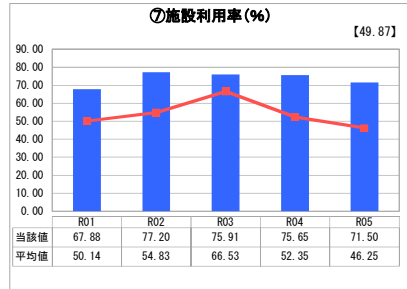
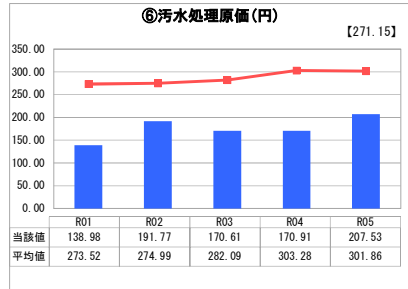
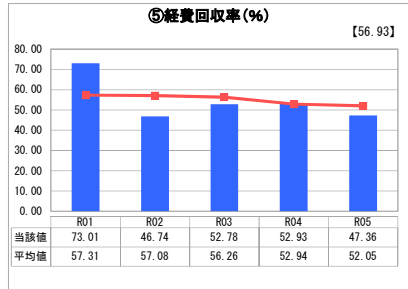
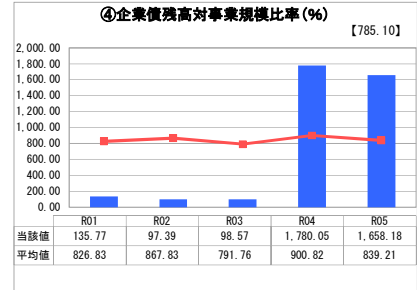
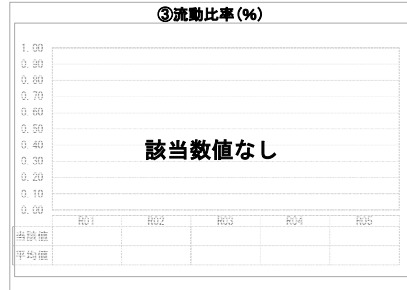
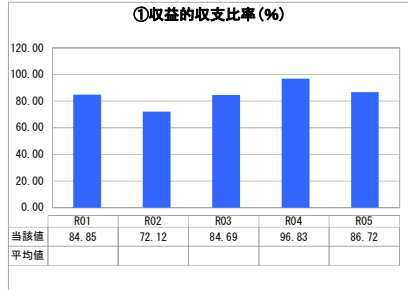
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	16.18	100.00	2,400

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,655	333.00	13.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
744	0.32	2,325.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【健全性】
収益的収支比率を見ても給水収益だけでは賄えないため、一般会計からの繰入金により維持している状態である。単年度収支が赤字であるため適正な施設使用料金の見直しの必要性について継続的に検討を続け、経営改善に向けた取り組みが必要である。企業債残高対事業規模比率では、令和4年度より当該値が大幅に上昇しているが、これは平成30・31年度起債借入の元金償還が始まったものであり、今後は計画的な償還に努めていく。（これ以降は現在まで大きな投資は見込まれていない）

【効率性】
使用者人口減少に伴う使用料の減少を踏まえた事業経営に取り組まなければならない。

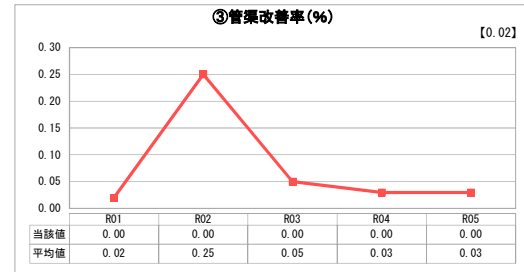
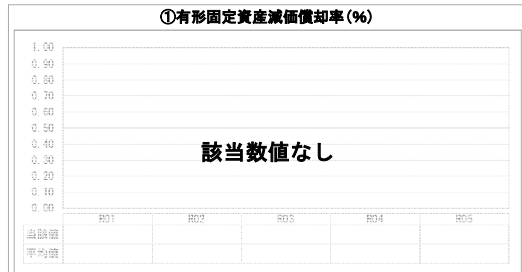
2. 老朽化の状況について

施設等の機能診断を行い、診断結果から最適整備構想を策定し、耐用年数を迎えた通信設備や機械等の更新を行っている。今後においても、経営戦略をもとに経営改善を図り、計画的な維持修繕や機械・管路等の更新に取り組む必要がある。

全体総括

単年度収支が赤字の状態が続いており、経営戦略をもとに更なる使用料の見直し、費用削減等の経営改善に向けた取り組みが必要であり、効率的かつ安定的な経営を行っていく。

2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。